◆好調カテゴリ別　金額市場規模前年比一覧

主食

前月よりも伸長し、前年比102.3%と前年を上回った。ただし、食パンやスパゲティなど、値上げの影響で販売金額が増加したものの、販売数量では前年割れとなったカテゴリーが少なくなかった。袋・カップインスタント麺も、値上げの影響で伸長しており、影響が広がりつつあることが見て取れる。
「米飯類」:おかゆやカレーご飯が好調、オミクロン株の感染拡大で、自宅療養の需要が高まったためと推察される。
「乾麺」:例年よりも気温が高かったため、そうめんやそばが好調位となった。

カテゴリー	金額前年比 2022年7月	前月差 2022年7月
主食　TOTAL	102.3	3.9
米		
米飯類	109.9	9.8
食パン	103.7	4.1
菓子パン・調理パン	104.7	1.0
シリアル類		
袋インスタント麺	101.1	6.6
カップインスタント麺	101.3	4.6
乾麺	106.3	3.9
生麺・ゆで麺	103.2	4.1
スパゲティ	109.0	8.9
マカロニ類		
小麦粉		
てんぷら粉		
唐揚げ粉		
パン粉		
プレミックス		

調味料

前月よりも伸長し、前年比100.6%と前年をやや上回った。
「マヨネーズ」:販売容量で前年を上回った。これは、前年同月に値上げ直後の買い控えで販売が落ち込んでいたためである。販売容量のトレンドでは、値上げの影響により苦戦が続いているようだ。
「サラダ油・天ぷら油」:値上げの影響で販売金額は伸びているものの、販売容量は落ち込んだ。とりわけ、キャノーラ油は値上げ幅が大きく、販売容量の落ち込みが続いている。
「つゆ・煮物料理の素」:気温が上昇し、そうめんやそばの需要が高まったことで、めんつゆも伸長したと見て取れる。

カテゴリー	金額前年比 2022年7月	前月差 2022年7月
調味料　TOTAL	100.6	3.2
醤油		
味噌		
食塩		
料理酒		
砂糖		
低カロリー甘味料	101.8	3.9
シロップ類	104.1	4.9
蜂蜜		
ソース		
ケチャップ		
マヨネーズ	115.1	5.1
ドレッシング	101.0	2.6
香辛料		
エッセンス類		
焼肉シャブシャブのタレ		
食酢		
ぽん酢		
本みりん		
みりん風調味料		
風味調味料		
削り節		
煮干し		
わかめ・こんぶ類		
つゆ・煮物料理の素	104.2	5.3
サラダ油・天ぷら油	115.1	2.5
ゴマ油		
バター		
マーガリン類		
チーズ	100.5	3.9
ジャム・ママレード		

※網掛け
前年比 105%超:

加工食品①

前月よりも伸長し、前年比104.4%と前年を上回った。
「こうや豆腐」:テレビ番組で取り上げられたことで、健康効果が注目され人気となったと考えられる。
「ふりかけ」:鮭フレークが好調。ご飯のお供や、パスタなどのアレンジレシピにも使用できることから、人気となっているようだ。
「まぜご飯の素」:牛丼や中華丼など、ご飯に乗せて食べる丼の具材が好調。オミクロン株の感染拡大で、簡便な食品の需要が高まったと推察される。
「冷凍水産・農産・調理」:堅調を維持。オミクロン株の感染拡大を背景として、簡便な食品への需要が高まったことも下支えとなったと見て取れる。

カテゴリー	金額前年比 2022年7月	前月差 2022年7月
加工食品①　TOTAL	104.4	3.7
春雨・くず切り	100.8	5.4
こうや豆腐	107.2	16.8
海苔	101.7	3.4
ふりかけ	106.1	6.3
お茶漬けの素	102.8	8.7
まぜご飯の素	105.4	9.1
カレー	103.5	3.9
シチュー		
パスタソース	101.9	7.8
シチューベース		
メニュー専用料理の素		
スープ類		
味噌汁・吸物類	100.2	0.4
調理用スープ		
冷凍水産	112.3	−0.1
冷凍農産	110.2	5.8
冷凍調理	108.0	3.7

加工食品②

前月よりも伸長したものの、前年比99.7%と前年をやや下回った。
「和風食品」:味付き玉子や鯛焼きの好調が継続。手軽におかずやおやつを取れることから、人気となっていると推察。
「魚肉ソーセージ」:値上げの影響により、販売金額が伸長したと見て取れる。
「焼豚」:値上げの影響もあるが、簡便に調理できる、切り落としや厚切りタイプが好調で販売数量も増加。

カテゴリー	金額前年比 2022年7月	前月差 2022年7月
加工食品②　TOTAL	99.7	3.8
魚介類缶詰		
野菜缶詰		
フルーツ缶詰		
畜肉缶詰		
パウチ入り食材		
和風食品	107.7	4.6
洋風食品		
中華風食品		
畜肉ハム	100.8	3.7
畜肉ソーセージ		
魚肉ソーセージ	105.1	4.1
焼豚	105.0	5.3
ベーコン	101.1	4.0

加工食品③

前月よりも伸長し、前年比102.0%と前年を上回った。
「ちくわ」:値上げの影響もあるが、販売数量も増加。8月から再度値上げの発表もあったことから、駆け込み需要も起きたと考えられる。

カテゴリー	金額前年比 2022年7月	前月差 2022年7月
加工食品③　TOTAL	102.0	4.2
かまぼこ	102.0	3.4
ちくわ	106.6	3.0
はんぺん	100.5	2.3
揚げ物		
納豆		
煮豆		
佃煮	101.7	4.1
もずく・めかぶ	104.1	9.0
豆腐類	102.8	3.5

菓子

前月よりも緩やかに伸長し、前年比101.1%と前年を上回った。
「キャンディ」:グミの好調が続くほか、オミクロン株の感染拡大のためか、のど飴も伸長。
「スナック」:値上げの影響もあるが、新商品の寄与により販売数量も伸長。
「栄養バランス食品」:新商品の寄与に加えて、外出増による小腹満たし需要拡大の影響もあると考えられる。

カテゴリー	金額前年比 2022年7月	前月差 2022年7月
菓子　TOTAL	101.1	0.4
チョコレート		
キャラメル		
キャンディ	107.5	−0.1
チューインガム		
ビスケット＆クラッカー	100.2	0.6
スナック	106.1	3.0
煎餅・あられ		
玩具メーカー菓子		
栄養バランス食品	110.0	−5.6

嗜好品

前月よりも伸長し、前年比100.6%と前年をやや上回った。
「ベビーフード」:外出増の影響により、伸長したものと考えられる。
「レギュラーコーヒー」:値上げの影響で販売金額が伸びているものの、販売容量では落ち込みが見られた。外出増や気温上昇も需要を押し下げたと推察される。

カテゴリー	金額前年比 2022年7月	前月差 2022年7月
嗜好品　TOTAL	100.6	1.8
アイスクリーム	101.0	2.4
デザート類	101.8	3.7
ベビーフード	107.1	3.4
インスタントクリーム		
フレッシュクリーム		
ホイップクリーム		
インスタントコーヒー		
レギュラーコーヒー	103.5	−4.8
紅茶		
ココア		
日本茶		
麦茶	100.2	1.1
中国茶		

飲料

前月よりも緩やかに伸長し、前年比101.9%と前年を上回った。気温上昇による熱中症対策の需要に加えて、オミクロン株の感染拡大で自宅療養の需要が高まり、スポーツドリンクや、美容・健康ドリンクのうち経口補水液などが好調となった。
「乳酸菌飲料」:ストレス緩和等の効果を訴求する、機能性表示食品の商品の好調が続いている。

カテゴリー	金額前年比 2022年7月	前月差 2022年7月
飲料　TOTAL	101.9	0.8
牛乳	101.4	3.7
ヨーグルト		
乳酸菌飲料	145.7	16.6
豆乳	101.2	1.0
100%ジュース	100.1	1.2
果汁飲料	108.3	−7.8
トマトジュース	102.2	3.4
野菜ジュース		
コーラ		
サイダー		
炭酸飲料		
コーヒードリンク		
紅茶ドリンク		
液体茶	103.5	−2.9
スポーツドリンク	113.5	−4.0
美容・健康ドリンク	111.5	4.3
栄養ドリンク	106.2	−0.5
ミネラルウォーター類	106.7	−1.7
乳酸飲料	101.6	6.7

アルコール

前月よりも伸長したものの、前年比95.8%と前年を下回った。
「ウイスキー」:PB商品の寄与に加えて、気温上昇の影響もあったためか、ハイボールが伸長。

カテゴリー	金額前年比 2022年7月	前月差 2022年7月
アルコール　TOTAL	95.8	2.1
ビール類		
ウイスキー	103.4	4.6
ワイン		
日本酒		
焼酎		

日用雑貨

前月よりも伸長し、前年比102.2%と前年を上回った。
「カビ防止剤」:「お風呂場に置くだけで防カビ対策ができる」と訴求する新商品の寄与により伸長。
「アルミホイル」:値上げの影響で伸長したと見て取れる。
「ぬれティッシュ」:オミクロン株の感染拡大を背景として、感染予防のため身の回りを清潔に保とうと、需要が高まったと推察される。

カテゴリー	金額前年比 2022年7月	前月差 2022年7月
日用雑貨　TOTAL	102.2	2.5
歯ブラシ	103.6	−0.9
歯磨き	104.7	2.6
マウスウォッシュ	107.2	0.3
義歯用剤	100.4	2.5
洗濯用洗剤	106.8	1.8
中性洗剤		
漂白剤	105.5	−0.1
柔軟剤	101.3	−0.5
台所用洗剤		
住居用クリーナー	102.2	5.6
トイレ用クリーナー	101.4	2.5
バスクリーナー	106.9	1.0
パイプクリーナー		
家庭用手袋	101.3	5.5
化学雑巾		
たわし・スポンジ	100.9	2.7
水切り袋	101.7	3.8
殺虫剤		
防虫剤		
カビ防止剤	125.2	−3.7
芳香・消臭剤		
トイレタンク用洗浄芳香剤		
除湿剤		
ラッピングフィルム	103.3	4.3
アルミホイル	109.0	4.0
食品包装用品	104.1	1.5
アルミガスマット		
ティッシュペーパー	100.6	2.9
トイレットペーパー	103.5	3.3
ペーパータオル	106.5	3.5
ぬれティッシュ	108.1	10.1
使い捨て紙クリーナー		
紙おむつ	101.7	2.6
大人紙おむつ	106.2	0.8
生理用品	104.9	2.7
絆創膏	103.1	2.3
使い捨てカイロ	100.5	−11.3
綿棒		

ペット

前月よりも緩やかに伸長し、前年比102.1%と前年を上回った。
「キャットフード」:価格帯の高いおやつタイプが好調で、家族の一員としてキャットフードにかけるお金が増加しているものと推察される。

カテゴリー	金額前年比 2022年7月	前月差 2022年7月
ペット　TOTAL	102.1	0.4
ドッグフード	102.3	1.3
キャットフード	106.2	1.0
ペット用品	101.2	−0.6

石鹸・ヘアケア

前月よりも緩やかに落ち込んだものの、前年比103.2%と前年を上回った。
「シャンプー、ヘアーリンス」:ダメージケアなどの効能を訴求する、高価格帯の商品が好調。
「アウトバスヘアケア」:セルフケア需要の高まりか、ヘアオイルの好調が継続。スプレーやワックスも前年を上回っており、外出時の需要が回復しつつあると見て取れる。

カテゴリー	金額前年比 2022年7月	前月差 2022年7月
石鹸・ヘアケア　TOTAL	103.2	−0.6
石鹸	101.8	3.8
入浴剤		
シャンプー	105.7	0.7
ヘアーリンス	105.4	1.4
ヘアートリートメント	102.3	−2.5
アウトバスヘアケア	109.2	−4.0
ヘアーカラー		
育毛トニック		
制汗剤	103.9	−9.9

化粧品

前月よりも緩やかに落ち込んだものの、前年比106.0%と前年を上回った。外出増の影響を受け、化粧品全般が好調となった。前年落ち込んでいた反動もあり、口紅がとりわけ大きく伸長したが、コロナ前の2019年の水準までは回復していない。
パックは、紫外線による肌のダメージをケアすることを訴求する商品が好調。

カテゴリー	金額前年比 2022年7月	前月差 2022年7月
化粧品　TOTAL	106.0	−0.3
クレンジング	102.1	−0.8
洗顔クリーム	110.0	3.5
化粧水	101.6	1.7
乳液	107.3	5.8
栄養クリーム	103.1	0.6
パック	115.3	2.3
美容液		
化粧下地	102.1	−1.0
ファンデーション	103.7	−0.9
おしろい	107.6	−5.5
口紅	137.4	−11.8
眉目料	109.8	−1.7
マニキュア	104.1	−1.5

医薬品

前月よりも伸長し、前年比110.0%と前年を上回った。オミクロン株の感染拡大を背景として、口腔用薬、鎮咳去痰剤、総合感冒薬と風邪関連薬が大幅に伸長。解熱鎮痛剤は、前年もデルタ株の感染拡大を背景に伸長していたにもかかわらず、前年を上回っている。
マスクのほか、皮膚用のうち、手指消毒剤も好調で、感染予防のため需要が高まったようだ。
「ミニドリンク剤」:外出増に加えて、オミクロン株の感染拡大を背景として滋養強壮の需要が高まったことが影響したと推察される。

カテゴリー	金額前年比 2022年7月	前月差 2022年7月
医薬品　TOTAL	110.0	9.6
コンタクト用剤	104.9	1.1
マスク	116.2	7.6
ミニドリンク剤	114.2	7.2
漢方薬	107.5	8.5
総合感冒薬	131.8	35.3
鼻炎治療剤	105.7	1.9
解熱鎮痛剤	104.8	21.6
鎮咳去痰剤	137.3	31.0
口腔用薬	177.8	71.0
胃腸薬	103.1	−3.3
整腸薬	105.6	1.5
外用鎮痛消炎剤	101.8	4.5
皮膚用薬	104.0	12.1
目薬	105.5	3.9
健康食品	107.4	5.2

この資料は当該データの公開時点での集計であり、最新データと異なることがあります。
利用は、原則貴社内のみとし、第三者への開示が必要な場合は、弊社が定める「パネルデータレポート第三者開示・利用基準」に従います。
また、弊社に起因しない事由により生じた内容の瑕疵についての訂正・取替えに関する義務は負いかねます。

(株)インテージ
DataSource:SRI+ 2022年7月データ